



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

流動創生

荒木 幸子 (あらき さちこ)

FlowLife Laboratory 代表



○ 登録者情報

所在地

福井県南越前町

○ 流動創生

取組の内容

移住定住に限らず多様な形で地域に関わる外部人材（関係人口）に対し、多拠点居住や旅暮らしといった「流動的なライフスタイル（FLOW LIFE）」の実践を支援し、地域間の人材流動を図る事業です。
これまでに実施した「南越前町流動創生事業」では、次のような構成で企画立案～運営を行っております。

1. 全国巡業企画RoundTrip（ラウンドトリップ）

主に都市部在住者7～8人で車に乗り合わせ、3～8地域を4日～2週間程度かけて巡ります。各地では宿泊場所を無償で提供いただき（1～2泊）、代わりに地域貢献活動を行います。

2. 町内滞在企画StopOver（ストップオーバー）

主に都市部在住者が地域の拠点（元空き家の一般民家等）に無償で滞在し、代わりに地域貢献活動（援農、空き家改修、地域イベント等）に参画します。

3. 情報戦略、流動文化醸成

都市部でのイベントの開催、またFLOW LIFE実践者インタビューやブログ記事の公開等、社会情勢や都市部在住者の関心に応じて情報戦略を展開しています。





実績

流動創生事業を通じて、地域(南越前町の実績)で創出した関係人口の実績は以下の通りです。

- ◆町内に訪問・滞在し、何らかの地域活動に参加された方
 - ・のべ150名程度 (H27~29年度の3年間)
- ◆町外での流動創生主催イベントに参加された方
 - ・1イベント最大約60名
 - ・全イベントでのべ100名程度 (H27~29年度の3年間)
- ◆他団体にゲストや登壇者としてお招きいただいたイベント
 - ・4件 (29年度)
 - ・それぞれ20~30名程度の参加あり

工夫した点や苦労した点

地域住民と都市部在住者が相手を搾取することなく、双方にとって良い形で関係を築くことが重要と考えています。日頃は私自身が地域住民として集落活動や農業等に参加し、地方の現場の感覚を持ち続けると同時に、都市部にも頻繁に足を運び、新しいライフスタイルに目を向けている都市部若年~中堅層と接触することで、地方と都市両方の立場や事情に寄り添いながらアクションを提案・支援するようにしています。

ひとつことPR

都市部での働き方改革や副業解禁、シェアハウスや多拠点居住といったライフスタイルの急激な多様化は、地方も決して無関係ではありません。空間を飛び越えて若い世代が動き始めています。関係人口の先には、地方や企業といった「組織」と多面性を有する「個人」とが、変化を前提としながらより柔軟に接続し社会を織り成す「人材流動」の時代が来ます。社会の転換期へ、積極的に歩みを進めていこうとしている地方・都市の方々と一緒に、次の時代を模索し、形作っていきたいと考えています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1	地域経営改革	7	まちなか再生
2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
4	企業立地促進	10	環境保全
5	定住促進	○	11 その他(関係人口、流動的なライフスタイル)
6	観光振興・交流		

関連ホームページ

流動創生公式サイト	http://ryudou-sousei.jp/
-----------	---

連絡先

メールアドレス	n.perditi65[アットマーク]outlook.com	その他	
---------	--------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。